

44. 人材活躍支援事業の変遷

- 2007年度(第85期) 前年に改組された産官学連携センター「技術相談事業委員会」にて、企業新人研修の一環として機械力学と材料力学講義演習(10日間)等を行った。関西支部シニア会より委員を招聘し、シニア活用のあり方を検討した。
- 2008年度(第86期) 中小企業基盤整備機構の受託事業「新現役チャレンジ支援事業」のアンケートで、約1200名のアドバイザー登録希望の回答があった。関西支部シニア会、東海支部より委員を招聘し、シニア活用のあり方を検討した。企業研修は継続。
- 2009年度(第87期) 改組により、産官学連携センター「技術相談事業委員会」、能力開発促進機構「中核人材育成事業(受託事業)」、「中小企業支援事業委員会」を統合し、イノベーションセンター「人材活躍・中小企業支援事業委員会」を設置。上記受託事業の回答者をデータベースに登録。企業研修は継続。
- 2010年度(第88期) 中小企業診断協会と相互連携に関する包括的覚書を交わし、関東支部との合同企画「元気な中堅・中小企業大集合-機械技術者と元気な中堅・中小企業との交流会-」を実施。企業研修は継続。
- 2011年度(第89期) 関東支部東京ブロックとの合同企画「中小企業診断協会と新現役(シニア人材)の連携を探る」を実施。企業研修は継続。
- 2012年度(第90期) 企業研修に機械力学基礎講座を追加。関東支部との合同企画「シニア技術者が活躍できる社会を目指して」を実施。
- 2013年度(第91期) 企業研修に材料力学基礎講座を追加。神奈川県中小企業診断協会協賛で、関東支部との合同企画「中小企業診断協会と新現役(シニア人材)の連携の促進を図る」を実施。
- 2014年度(第92期) 神奈川県中小企業診断協会協賛で、関東支部との合同企画「シニア活躍へのJSME支援活動について-新たな展開へ向けて-」を実施した。シニア人材支援事業のため55-75才のメール登録者にアンケートを実施。シニア活躍支援および出前講座のニーズ調査により、2件のマッチング、1件の出前講座を実施。
- 2015年度(第93期) これまでに設立された北海道、東北、中国・四国、関東支部のシニア会の代表者を招集し、意見交換を行った。企業研修は継続。
- 2016年度(第94期) 全支部にシニア会が設置されたため、代表者を招集し、意見交換を行った。企業研修は継続。
一般社団法人中部産業連盟(中部経済産業局)、中小企業庁埼玉県および支援拠点等に対し、シニア人材マッチングに関する連携アプローチをした。

技術相談事業の動向

期間	相談受付件数		契約成立件数		無料回答件数	
	当該期間	累計	当該期間	累計	当該期間	累計
02.04~03.03	20	20	5	5	5	5
03.04~04.03	25	45	5	10	11	16
04.04~05.03	25	70	8	18	10	26
05.04~06.03	22	92	6	24	4	30
06.04~07.03	23	115	8	32	7	37
07.04~08.03	18	133	5	37	3	40
08.04~09.03	8	141	3	40	1	41
09.04~10.03	12	153	3	43	1	42
10.04~11.03	12	165	2	45	0	42
11.04~12.03	13	178	3	48	0	42
12.04~13.03	12	190	4	52	2	44
13.04~14.03	13	203	4	56	2	46
14.04~15.03	13	216	5	61	2	48
15.04~16.03	14	230	5	66	0	48
16.04~17.03	14	244	2	68	3	51

